



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.89 12月号
2017年

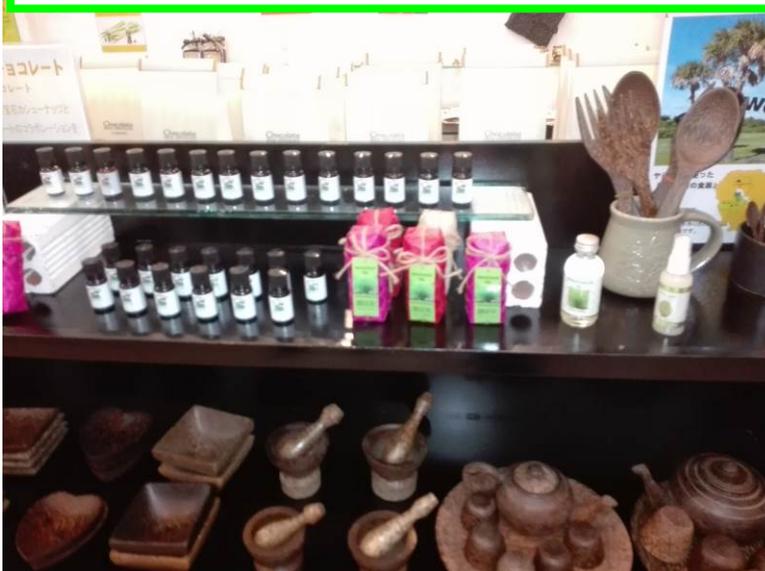
公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

シェムリアップ視察

皆さんこんにちは。12月日本では寒波が襲い、大変な被害が出ていると聞いています。カンボジアも1年の中で12月、1月が一番寒くなります。こちらの最低気温は15度。私たちからすると過ごしやすい気温ですが、カンボジアの方にとってはとても寒いらしく、マフラーをする人もいます。今月の報告はシェムリアップへの視察について、稲刈りや契約農家さんについて報告したいと思います



ノムトムムーンを実演で作る店員さん



SAJ レモングラス精油の販売棚

◇シェムリアップ視察

12月シェムリアップへ視察に行きました。シェムリアップには世界的に有名な遺跡アンコールワット、アンコールトムがあり、世界で有名な観光地です。今までSAJでは農場から遠いこともあり、シェムリアップでの営業等は行っておらず、精油の販売なども行っていませんでした。今回の視察ではシェムリアップで日本人がオーナーを務めている会社を数件周りしました。1件目はアロママッサージのお店で、SAJのレモングラスを使った特別なコースを実体験。その後店内、ショップの中などを見学させて頂きました。店内では様々なハーブの栽培もされていました。見学後SAJの精油をお客様に嗅いで頂き、感想を聞いていただけることになりました。2件目はカンボジアでノムトムムーンという伝統菓子の製造販売をされている会社です。自社内で石鹸や蚊除けスプレー、マッサージオイルなどの加工品の製造もされており、SAJの精油を店内のお土産コーナーに置いて頂きました。その他に実際に石鹸を作っている部屋を見学させて頂いたり、中は見学できませんでしたが納豆などの食品を作る部屋もあり、衛生管理も日本と同じようにしっかりとされていました。今回のシェムリアップの視察で大きな一歩を踏み出すことができると実感しました。



稲刈りを行うスタッフ

◇稲刈り

12月稲の穂が黄色に色づき、ついに稲刈りの時期が到来しました。SAJFarmでは、稲刈りは手で行います。鎌で稲の根元の部分を刈り、そして手でつかめるぐらい稲をまとめて茎で縛って束にします。束にした稲は水田の畦面に逆さにして置き、乾燥させてから後でまとめて置いておきます。そしてすべての収穫が終わった後に、まとめて脱穀を行います。

今回例年よりも人が二人少なかったことに加え、別の作業も加わり、稲刈りが3週間以上かかってしまいました。稲を水田に放置した期間が長く、米の状態がよくありませんでした。段取りが悪かったことが原因です。来年は今年の反省を生かし事前準備をしっかりと行うようにしたいです。

◇契約農家さん

12月契約農家さんの畑から続々とレモングラスが運び込まれました。SAJFarmでは契約農家さんの畑でできたレモングラスは、3日以上乾燥してもらい、4~6cmほどの長さに裁断してもらってから買い取っています。買い取り価格は1kgあたり2,500リエル(0.625\$)ほどです。12月は2人の契約農家さんから179.2kgのレモングラスを買い取りました。およそ112\$になります。工場の1カ月あたりの最低賃金が190\$ぐらいになるので、農家さんの副業として、十分な額になります。さらに契約農家さんを増やし栽培面積を増やせるよう、農家さんへのレモングラス栽培のフォローをしていきたいと思います。



乾燥裁断したレモングラスを車に積む契約農家さん

◇講習会

12月農家さん向け講習会では、契約農家さんのニエイさん畑で中耕を行いました。中耕とはレモングラスとレモングラスの間を鋤で耕し、土をレモングラスの株元へ寄せる作業です。中耕を行うことで土の中に根が入り込む隙間ができ、レモングラスの成長を助ける働きがあります。また株元に土を寄せることで、雑草を土ごと引っこ抜くこともでき、除草もできます。講習会では10aの畑を中耕しましたが、全てを手作業で行うのは大変なため、SAJFarmの管理機を併用し、畑全てを中耕しました。後はレモングラスが今より大きく成長してくれるのを願うばかりです。



管理機を運転するテム君